

開催概要

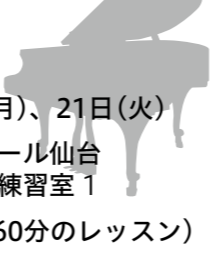
ヴァイオリン部門

日程	2022年5月30日(月)、31日(火)
会場	日立システムズホール仙台シアターホール
募集人員	概ね6名（1名1回60分のレッスン）



ピアノ部門

日程	2022年6月20日(月)、21日(火)
会場	日立システムズホール仙台シアターホール、練習室1
募集人員	概ね9名（1名1回60分のレッスン）



受講資格	将来音楽家を志す中学生以上25歳以下の方。国籍不問。※2022年4月1日時点
申込方法	<p>必要事項を記入し写真を貼付した申込書と、受講希望曲の演奏(10分程度)を収録したCDを下記申込先へ送付してください。</p> <p>※2021年8月以降に録音した音源を提出してください。</p> <p>※CDに氏名を記入してください。</p> <p>※写真は、masterclass@simc.jp 宛にデータでお送りいただいても構いません。</p> <p>※提出された申込書、写真、CDは返却いたしません。</p>
申込先	公益財団法人仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局 マスタークラス係 〒981-0904 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5 （日立システムズホール仙台内）
申込締切	2022年2月28日（月）必着
選考	書類、CDによる審査を経て受講生を決定し、応募者全員に結果をご連絡いたします（3月下旬を予定）。 【選考委員】 ヴァイオリン部門：堀 正文、豊嶋 泰嗣、澁谷 由美子 ピアノ部門：野平 一郎、東 誠三、倉戸 テル
受講曲目	各部門とも自由 ※ただし、選考用録音曲と同じ曲とします。
受講料	25,000円 ※交通費その他受講のための費用は受講生負担となります。 ※伴奏ピアニストが必要な場合は各自同伴してください。 ※主催者側で日本語通訳を手配いたします。
聴講料	■レッスンは一般公開されます。（1日券） 一般1,000円 学生500円 ※聴講券は2022年2月頃発売予定です。 ※受講生は無料です。

～第8回仙台国際音楽コンクール～

仙台国際音楽コンクールは、仙台市が 2001 年に創設し、3 年毎に行うコンクールです。才能ある若い音楽家を輩出することにより、世界の音楽文化の振興及び国際的文化交流の推進に寄与することを目的としています。

協奏曲を課題曲の中心に据えるという特色を持ち、公正で信頼性の高い運営とともに、市民ボランティアの温かいホスピタリティに支えられたコンクールです。国際音楽コンクール世界連盟加盟。

開催期間：[**ヴァイオリン部門**]2022 年 5 月 21 日（土）～6 月 5 日（日）
[**ピアノ部門**]2022 年 6 月 11 日（土）～6 月 26 日（日）

会 場：日立システムズホール仙台

詳細は公式サイトをご覧ください。https://simc.jp



講師プロフィール

※講師の詳しいプロフィールについては、第 8 回仙台国際音楽コンクールの公式サイトをご確認ください。

ヴァイオリン部門

2022年 5月30日(月)	オリヴィエ・シャルリエ Olivier CHARLIER（フランス） 弱冠10歳でパリ国立高等音楽院に入学。プーランジェ、メニューイン、シェリングから才能を認められ、頭角を現わす。フランス国立管、ロンドン・フィル、チューリッヒ・トーンハレ管、N響など主要オーケストラと共演し、室内楽でも活躍。録音も多数あり、ブラハ室内管を弾き振りしたモーツァルトの協奏曲など高い評価を得ている。	川崎 雅夫 KAWASAKI Masao（日本） ジュリアード音楽院教授。アメリカを中心に国際的に活躍するヴァイオリン・ヴィオラ奏者。桐朋学園大学を経てジュリアード音楽院に留学。世界各地の国際コンクールやマスタークラスに招かれるなど、若手への指導にも力を注いでいる。日本においては水戸室内管弦楽団メンバーを務めるほか、宮崎国際音楽祭には第1回から参加している。	ジョエル・スミルノフ Joel SMIRNOFF（アメリカ） ジュリアード音楽院教授。指揮者、ヴァイオリニスト、そして教育者であり、クリーヴランド音楽院の学長を務めた。小澤征爾から勧められたことをきっかけに指揮者となり、多くのオーケストラと共演。ジュリアード弦楽四重奏団の元メンバーであり、グラミー賞の特別功労賞生涯業績賞を受賞。トニー・ベネットと共演してジャズ演奏も行う。
--------------------------	--	---	--

5月31日(火)	堀米 ゆず子 * 審査委員長 HORIGOME Yuzuko（日本） 1980年エリーザベト王妃国際音楽コンクールで日本人初優勝。ベルリン・フィル、ロンドン響、シカゴ響、アバド、小澤征爾、ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者と共演。世界中の音楽祭に招かれ、マスタークラスも開催。第6回より仙台国際音楽コンクール審査委員長を務める。ブリュッセル王立音楽院教授、マーストリヒト音楽院教授。	グレゴリー・アース Gregory AHSS（イスラエル） 2004年アバド指揮モーツァルト管でソロデビュー。その才能を認められルツェルン祝祭管弦楽団コンサートマスターに就任。現在はカメラータ・ザルツブルクのコンサートマスターも務める。ロンドン響、バイエルン放響などのゲストコンサートマスターに招かれるほか、室内楽ではヤンセン、パユ、マイヤー、メルニコフらと共演を重ねている。	チョーリャン・リン Cho-Liang LIN（アメリカ） ジュリアード音楽院教授、ライス大学教授。1980年メータ指揮ニューヨーク・フィルでデビュー。以来、世界の主要オーケストラと共演。録音も数多く、現代作曲家の新曲委嘱・初演に努めているほか、台北ミュージックアカデミー&フェスティバルを創設するなど教育活動にも積極的に取り組むなど、多岐にわたる活動を続けている。
----------	--	---	--

ピアノ部門

2022年 6月20日(月)	海老 彰子 * 審査副委員長 EBI Akiko（日本） 東京藝術大学で学びバリ国立音楽院最優秀卒業。ロン・ティボー、ショパン等上位入賞。世界37カ国で演奏活動を展開。シュバリエ文芸仏勲章他受賞。日本のオケ、ワルシャワ国立、ラジオフランスほか、アルゲリッチ等と度々共演。横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員長。浜松国際ピアノコンクール審査委員長ほか、ショパンなど国際コンクールの審査委員を歴任。	ジャック・ルヴィエ * 審査副委員長 Jacques ROUVIER（フランス） ザルツブルク・モーツァルテウム大学教授。パリ国立高等音楽院では、フレイ、グリモーら多くの著名なピアニストを輩出した。 カントロフ、ミュレールとピアノ・トリオを結成して活躍。ラヴェルのピアノ曲全集など録音は 30 以上あり、仏ディスク大賞を受賞。世界中の音楽祭やアカデミーに参加するほか、マスタークラスにも招待されている。	ジュゼッペ・アンダローロ Giuseppe ANDALORO（イタリア） 第 1 回仙台国際音楽コンクール優勝者。ブゾーニ、香港など数々の国際コンクールで優勝。世界各国でオーケストラ共演やリサイタルを行うほか、ラジオやテレビ番組にも積極的に出演する同世代を代表するピアニスト。マスタークラスの開催や国際コンクール審査委員を務めるなど後進の指導にも尽力。2005 年イタリア文化賞芸術勲章受賞。
--------------------------	--	---	---

ミシェル・ベロフ Michel BÉROFF（フランス） メシアンの優れた解釈者として知られる多才なピアニスト。アバド、バレンボイム、小澤征爾など著名な指揮者と多数共演し、室内楽、楽譜の校訂者、指揮者としても活躍。録音は50以上ありディスク大賞を5回受賞。NHK「スーパーピアノレッスン」にも出演した。パリ国立高等音楽院で長年指導し、ショパンコンクール優勝者を輩出している。	但 昭義 （ダン・ジャオイー） DAN Zhaoyi（中国） 中国深圳国際ピアノコンクール芸術監督、深圳芸術学校終身名誉教授、四川音楽学院終身特別教授などを務める中国を代表するピアノ教育家。ユンディ・リやハオチェン・チャンなど国際的に活躍するピアニストを多く輩出。ピアノ教育指導法の著書も多く、世界の主要な国際コンクールの審査委員やマスタークラス講師を務めている。	マティアス・キルシュネライト Matthias KIRSCHNEREIT（ドイツ） “ピアノの詩人”と称される、ドイツで最も成功し注目されているピアニスト。レコーディング作品も数多く、エコー賞も受賞。ソリストとして主要オーケストラと共演のほか、室内楽も積極的に取り組む。ロストック音楽・演劇大学教授、「ゲツァイテン音楽祭」芸術監督を務めるほか、文化プロジェクト「Rhapsody in School」と「TONALi」にも注力している。
--	---	---

6月21日(火)	エリック・タヴァッシェルナ Erik T. TAWASTSTJERNA（フィンランド） ヘルシンキ芸術大学シベリウスアカデミー名誉教授。1968年ヘルシンキ・マイ・リンドピアノコンクール入賞後、世界各地でコンサートに出演。1990年迎賓館赤坂離宮で行われた御前演奏会に招待される。ギルドホール音楽演劇学校、東京音楽大学などでマスタークラスを開催。2006年フィンランドのプロフェッサー・オブ・ザ・イヤーに選ばれた。	エリソ・ヴィルサラーゼ Elisso VIRSALADZE（ドイツ/ロシア） モスクワ音楽院教授、ミュンヘン音楽・演劇大学教授。偉大なシューマン奏者の一人と称賛されると同時に、幅広いレパートリーを持つことで知られる。リサイタル活動に加え、コンドラシン、ムーティ、サヴァリッシュ、スヴェトラーノフら著名な指揮者のもと、世界の様々なオーケストラと共演。主要な国際コンクールで審査委員も務める。	フランク・ウィボー Frank WIBAUT（イギリス） 英国王立音楽大学、英国王立音楽院教授などを務め、現在はロンドンを拠点に世界各国の客員教授や国際コンクールの審査委員として活躍。ザルツブルク夏期アカデミー教授やヘイスティングス国際ピアノ協奏曲コンクール音楽監督兼審査委員長も務める。これまでの功績に対し、英国王立音楽院より最高の栄誉にあたる「Honorary RAM」が授与された。
----------	--	---	---